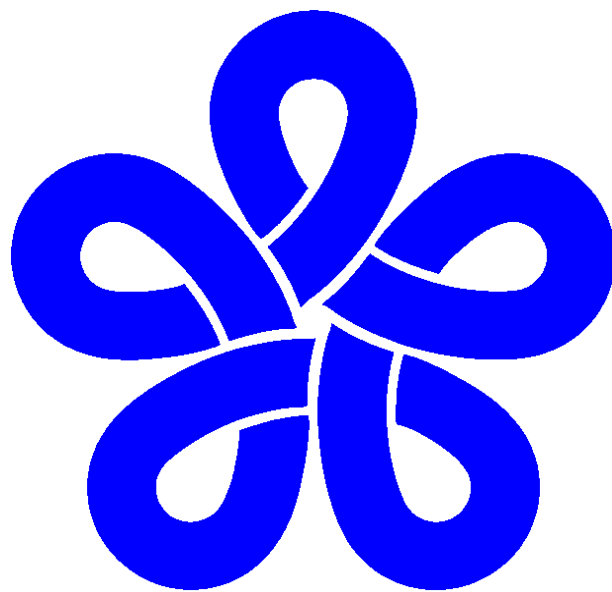


福岡県・バンコク都友好促進訪問団
報 告 書



令和6年11月19日～22日

福岡県議会

「福岡県・バンコク都友好促進訪問団」について

1 概要

福岡県は平成18年(2006年)にバンコク都と友好提携を締結、福岡県議会も翌平成19年(2007年)にバンコク都議会と友好提携を締結し、経済、環境、文化、教育など様々な分野で交流を行っている。今回、服部 誠太郎 福岡県知事からの参加依頼に基づき、バンコク都議会とワンヘルスの推進に係る項目を加えた新たな協定を締結するとともに、両地域の更なる関係強化や本県の認知度向上を図るため、知事および県議会からなる「福岡県・バンコク都友好促進訪問団」がタイ王国バンコク都を訪問した。

2 期間

令和6年11月19日(火)～22日(金)【2泊4日】

3 訪問団

福岡県知事	服部 誠太郎
福岡県議会 議長	香原 勝司
九州の自立を考える会 会長	藏内 勇夫
自由民主党福岡県議団 会長	松尾 統章
民主県政県議団 会長代理	井上 博隆
福岡県議会議員	吉田 浩一 (自民党県議団)
福岡県議会議員	佐々木 允 (民主県政県議団)
福岡県議会議員	山本 耕一 (民主県政県議団)
福岡県議会議員	豊福 るみ子 (民主県政県議団)
福岡県議会議員	井上 正文 (自民党県議団)
福岡県議会議員	宮川 宗一郎 (自民党県議団)
福岡県議会議員	田中 雅臣 (民主県政県議団)
福岡県議会議員	坪田 晋 (民主県政県議団)
福岡県議会国際交流コーディネーター	

随行者：議会事務局 局長 ほか4名

国際局 局長 ほか1名

観光局 局長 ほか3名

輸出促進課長 ほか2名

※服部誠太郎福岡県知事もワンヘルスに関するMOU締結、タイ王国への福岡の食・文化等のPRなどを目的に、同時にバンコク都を訪問した。

【11月19日（火）】

◎バンコク都による出迎え（15：40～）



（チャチャート・シティパン都知事はじめバンコク都職員の皆様から歓迎を受ける）

◎タイ国福岡県人会及びタイ福岡 OB 会との意見交換会（18：30～）

I. 概要

1. 日 程 2024 年 11 月 19 日 18 時 30 分～

2. 訪問先 バンコク市内

3. 対応者 タイ国福岡県人会会員
タイ福岡 OB 会会員

II. 目的

タイ国内において福岡県との交流促進に取り組むタイ国福岡県人会及びタイ福岡 OB 会の皆様と意見交換を行い、現地情勢や交流の現状を把握するとともに、今後の人的交流、経済交流及び文化交流の発展に向けた課題や可能性について理解を深めることを目的とする。

III. 報告

訪問団はタイ国福岡県人会及びタイ福岡 OB 会の皆様との意見交換会に出席した。意見交換会には、タイ国福岡県人会と OB 会の皆様が参加され、タイの社会情勢や経済状況、福岡との交流状況などについて活発な意見交換が行われた。意見交換で

は、現在のタイの社会経済情勢や日タイ交流の状況、観光需要の変化、人材育成、留学交流の成果などについて幅広い意見が交わされた。

参加者からは、福岡県での留学経験や人的交流が現在も続いていること、福岡への親近感が強いことなどが紹介され、近年はタイ国内において日本への関心が引き続き高く、特に福岡は東京や大阪とは異なる魅力を持つ都市として認識されているとの意見もあった。食文化や自然環境、人々の温かさなどが高く評価されており、観光地としての魅力だけでなく、学びや暮らしの場としても福岡県への関心が高まっていることが伺えた。

訪問団からは、福岡県とタイとの交流が今後さらに発展するよう引き続き協力をお願いするとともに、現地における福岡県の認知度向上や交流促進に向けた意見交換を行った。

福岡県が長年取り組んできた国際交流の成果を実感できる交流の場となった。

タイ国福岡県人会概要

設立：1982年

会員数：約700名

その他：【主なイベント】

企業親睦会（年1回）

船上パーティ（年1回・12月）

懇親会（9月を除く奇数月の第1水曜日）

タイ福岡OB会概要

設立：2014年

会員数：約80名

タイ政府や大学、日系企業で勤務している方々

その他：福岡県への留学や勤務経験などがある方々によるOB会

意見交換内容

意見交換会には、タイ国福岡県人会会長をはじめとする会員および本県に留学経験のある大学関係者等からなるタイ福岡OB会会員から計10名に参加いただいた。香原議長は、日頃から福岡県とタイとの交流の懸け橋として、大きな役割を果たしていただいている、県人会・OB会の皆様と再会できたことに対する喜びの言葉を述べられた。その後、終始和やかな雰囲気の中、タイやバンコクの情勢や文化など、様々な分野にかかる意見交換が行われた。



(香原議長挨拶)



(県人会・OB会の皆様との記念撮影)

<訪問団コメント>

- ・ 国際交流の基盤は人と人とのつながりであり、様々な企業体で働く福岡県人会の皆さまや、かつて福岡県で学究などに勤しまれたOB会のタイ人の皆さまによる、脈々とした活動が福岡とタイとの友好関係を強力に支える一翼となっている。また、行政や議会による交流だけではない、こうした民間レベルでの交流や留学経験者の増加に継続して取り組むことが両地域の友好関係をさらに強固にしていくものとする。
- ・ 服部知事の標榜する世界に開かれた福岡県という言葉を実体あるものにしていくためには、海外との人的交流、経済的交流はますます重要なファクターである。若い世代の留学や交流機会の確保のほか、行政として可能な交流施策を議会としても提案し、実現していく必要がある。
- ・ 同様に、これも知事の目指す、福岡県における多文化共生社会の実現に向けても、若者の交流や留学交流、また経済的な交流を継続し、次世代につながる交流の盤石な基盤を築いていくことが重要である。この交流会における意見交換を通じ、本県の国際戦略において非常に大事な位置を占めるタイ王国との交流をさらに拡充し、深化していくべきと改めて認識する機会となった。

【11月20日（水）】

◎バンコク都知事との会談・ワンヘルス推進に係る基本合意書署名式
（10：00～）

I. 概要

1. 日程 2024年11月20日午前10時～

2. 訪問先 タイ王国バンコク都庁

173 Dinso Rd, Sao Chingcha, Phra Nakhon, Bangkok

3. 対応者 チャチャート・シティパン バンコク都知事

II. 目的

福岡県とバンコク都との間でワンヘルス推進に関する協力体制を強化するため、基本合意書を取り交わし、今後の両地域の政策の有機적關係を發展させるとともに、併せて今後の交流の方向性について確認することを目的とする。

III. 報告

訪問団はバンコク都庁を訪れ、チャチャート・シティパン都知事との会談に臨んだ。福岡県とバンコク都は2006年に友好提携を締結して以来、経済、環境、教育及び文化など様々な分野において交流を積み重ねてきた。今回の訪問ではワンヘルスという新たな共通理念のもとで友好・協力關係をいっそう強化する重要な機会となった。

会談の冒頭でチャチャート都知事は、福岡県との交流がバンコク都にとって重要な国際交流の一つであることを述べるとともに、これまでの交流の成果に対する感謝の意を示された。

福岡県側からは、長年にわたり培われてきた信頼關係により今回の合意に至ったことへの感謝を伝えるとともに、今後も両地域が協力しながらワンヘルスの理念を推進していくことへの期待が示された。

こうした意見交換を経て、「福岡県とバンコク都の協力によるワンヘルスの推進」に関する基本合意書署名式が行われた。

福岡県は全国に先駆けてワンヘルス条例を制定し、教育、普及啓発及び実践活動に取り組んできた。今回の基本合意は、その取組が自治体間の国際連携へと發展したものであり、今後の両地域の具体的な事業展開につながるものと大いに期待できる成果となった。

バンコク都概要

人口：5,471,588 人（2023 年）

面積：1568.737m2（都市圏人口は 2018 年時点で 1600 万人超）

世界有数の大都市圏を形成している。ASEAN 経済の中心地で、東南アジア屈指の世界都市でもある。

タイの王宮や政治の中枢機関が集中しているだけでなく、交通と宿泊施設の整ったバンコクは多くの各国要人を招き、アジアで 2 番目に多くの国際会議が開かれる都市であり、政治的に多大な影響力を持つ。

（外務省 HP 参照）

バンコク都知事略歴

姓名

チャチャート・シティパン（Chadchart Stipitunt）

政治歴

- ・インラック政権下で運輸大臣を務めた（2012-2014）。
- ・タイ貢献党に所属していた 2019 年の総選挙時、首相候補に指名されたが辞退。
- ・無所属で出馬した 2022 年 5 月の選挙で、前バンコク都知事アサウィン氏などを破り、バンコク都知事に初当選。



会談・ワンヘルス推進に係る基本合意書署名式 内容

バンコク都のチャチャート・シティパン都知事と会談が行われた。

香原議長はチャチャート都知事の温かいおもてなしに感謝の意を示すとともに「永きに渡ってバンコク都と築かれてきた人間関係・信頼関係により今日の合意に至ったことを大変嬉しく思う。引き続き福岡県と共に、ワンヘルスの推進にお力添え賜るよう心より期待する。」と挨拶された。

その後、人と動物の健康と環境が調和した社会づくりにグローバルに貢献することに合意した「福岡県とバンコク都の協力によるワンヘルスの推進」に関する基本合意書署名式が行われ、香原議長をはじめ訪問団が締結に立会した。



(表敬の様子)



(都知事と記念品の交換)





(基本合意書にサインする両知事)



<訪問団コメント>

- ・ 今回の訪問にあたっての最大の成果は、ワンヘルスを共通理念とした新たな協力関係が構築されたことであり、福岡県が先駆的に取り組んできたワンヘルスが国際的な広がりを見せていることを大変心強く感じた。
- ・ タイ王国、ならびにバンコク都では人獣共通感染症である狂犬病が大きな脅威となっている。こうした感染症への対策や環境保全は一自治体だけで解決できる課題ではなく、国際的な連携が不可欠である。今後は協定締結にとどまらず、人材育成や教育交流など具体的な成果につながる取組を進めていく必要があると考える。
- ・ 国際交流は継続することに意義があり、長年の信頼関係の積み重ねが今回の成果につながったことを改めて実感した。今後は、福岡県とバンコク都とのMOUを基軸に、双方の地域の公衆衛生や環境意識の向上に資する施策を、相互に確認・研究しながら実現していくべく、福岡県議会としても多岐にわたる分野で調査・研究の上、双方の自治体に提言をしていきたい。

◎在タイ日本国大使館との意見交換会（１２：００～）

I. 概要

1. 日程： 2024年11月20日正午～
2. 訪問先：在タイ日本国大使館
177 Witthayu Road, Lumpini, Pathum Wan, Bangkok
3. 対応者：大鷹正人駐タイ国大使 他

II. 目的

タイ王国の政治・経済・社会情勢について理解を深めるとともに、福岡県が推進する観光振興及び県産品輸出の可能性について意見交換を行い、今後の国際交流施策に資する知見を得ることを目的とする。

III. 報告

訪問団は、在タイ王国日本大使館を訪問し、大鷹正人大使と意見交換を行った。タイ王国は、東南アジア有数の経済規模を有する国であり、日本との関係も極めて深い。自動車産業をはじめとする製造業分野では多くの日系企業が進出しており、日本人駐在員やその家族も多数生活している。また近年は観光分野においても交流が活発化しており、日本を訪れるタイ人旅行者は増加傾向にある。

意見交換では、現在のタイ経済の動向や日本との交流状況、観光市場の変化などについて説明を受けた。特にタイにおいては日本への関心が高く、地方都市への旅行需要も拡大しているとのことであり、福岡県にとっても大きな可能性を有する市場であることが確認された。

また、県が力を入れている観光客誘致についても意見交換が行われた。福岡県は九州の玄関口として交通利便性に優れており、都市機能と自然環境が調和した魅力を有している。さらに食文化の評価も高く、タイ市場において十分な競争力を持つとの見解が示された。

県産品の輸出についても話題となり、八女茶や日本酒、果物、和牛などへの関心が高いことが紹介された。一方で海外市場への定着には継続的な情報発信や販路開拓が不可欠であり、行政・民間が一体となった取組が重要であるとの認識を共有した。訪問団にとって、タイ市場の可能性とともに、国際競争の中で福岡県の魅力をどのように発信していくかを考える貴重な機会となった。

【大使略歴】

大鷹 正人（おおたか まさと）



経歴

昭和 61 年 4 月 外務省入省

平成 21 年 2 月 在タイ日本国大使館 参事官

平成 22 年 7 月 在タイ日本国大使館 公使

平成 24 年 9 月 在アメリカ合衆国日本国大使館 公使

平成 28 年 2 月 大臣官房参事官（報道・広報・文化交流担当）（外務副報道官）

11 月 大臣官房参事官（報道・広報・文化交流担当）（外務副報道官）

兼アジア大洋州局

平成 29 年 7 月 大臣官房参事官（報道・広報・文化交流担当）（外務副報道官）

兼総合外交政策局（大使）、領事局 // 大臣官房審議官（報道・広報・文化交流担当）（外務副報道官） 兼総合外交政策局（大使）、領事局

9 月 大臣官房審議官兼総合外交政策局（大使）、領事局

令和元年 9 月 大臣官房外務報道官

令和 2 年 7 月 大臣官房

令和 2 年 11 月 特命全権大使 ハンガリー国駐劄

令和 6 年 1 月 特命全権大使 タイ王国駐劄

意見交換会内容

在タイ日本国大使館の大鷹大使を訪問し、現在のタイの社会経済情勢や、タイ人から好まれる和食の傾向など、幅広い情報をお聞きするとともに、県が力を入れている観光客の誘致や、フルーツ・八女茶・日本酒など県産品の販路拡大などについて意見交換を行った。



（中央：大鷹大使）

<訪問団コメント>

- ・ タイにおける日本の文化や食等への人気は安定して極めて高く、福岡県にとっても大きな可能性を持つ市場であることを大鷹大使との意見交換で再確認した。国際競争が激化する中、県のような自治体からも戦略的な情報発信を行っていくことが非常に肝要であると改めて認識した次第である。
- ・ また観光振興だけでなく、県産品輸出や人材交流など、多面的な交流を進める必要性を感じた。
- ・ 福岡県の魅力は食や自然、暮らしやすさにある。タイ国に向けては都市部の魅力だけでなく、各地域の魅力をあまねく、かつ積極的に発信していくことが重要であるということを実感した。
- ・ こうした観点を持った海外との交流は福岡県の地域経済の活性化にも直結すると考える。議会としてもタイ国との継続的な交流活動や政策提言の場面において、福岡県の各地域からの情報発信という視点を加えることについての必要性も感じたところである。この点において、県側と協議しながらぜひ進めていきたい。

◎バンコク都議会議長表敬訪問・協力関係確立に関する協定書締結式
(15:00～)

I. 概要

1. 日程 2024年11月20日15時～
2. 訪問先 バンコク都第二庁舎（都議会庁舎）
111 Thanon Mit Maitri, Din Daeng, Bangkok
3. 対応者 スラジット・ポンシンウィタヤー議長
バンコク都議会議員

II. 目的

福岡県議会とバンコク都議会との友好交流をさらに発展させるとともに、ワンヘルス推進を含む新たな協力関係について確認し、議会間交流の深化を図ることを目的とする。

III. 報告

訪問団はバンコク都議会を訪問し、スラジット・ポンシンウィタヤー議長をはじめとする都議会議員の皆様と意見交換を行った。

福岡県議会とバンコク都議会は（福岡県とバンコク都との友好提携締結の翌年にあたる）2007年に友好提携を締結して以来、相互訪問を継続しながら交流を深めてきた。こうした関係は、行政同士の交流に加え、議会同士が直接対話を重ねることで相互理解を深め、友好関係の発展、経済や人的な交流、ひいてはタイ王国総領事館の福岡設置など、多角的な友好交流に大きく寄与してきたところである。

バンコク都議会のスラジット議長からは、これまでの交流実績に対する評価と感謝が述べられるとともに、今後も両議会の関係をさらに発展させたいとの意向が示された。

会談を経て、ワンヘルスの推進に関する協力関係確立に関する協定書に双方の議長が署名した。この協定は、単なる友好交流の確認にとどまらず、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に捉えるワンヘルスの理念について、両議会が連携して普及・推進に取り組むことを確認するものである。

世界規模で感染症や環境問題が深刻化する中、自治体議会が国際的な視点を持ちながら多国間で連携しつつ政策課題解決に取り組むことは極めて重要である。今回の協定締結は、そのような時代背景を踏まえた先進的な取組であり、福岡県議会の国際交流活動においても極めて大きな意義を有するものである。

締結式の後の懇談では、改めてそれぞれの地域課題や今後の交流のあり方について率直な意見交換が行われた。

バンコク都議会略歴

バンコク都議会議長

氏 名：スラジット・ポンシンウィタヤー

(Mr. Surachit Phongsinghvithya)

現 職：バンコク都議会議長

生年月日：1980 年 6 月 17 日

選 出 区：ラートクラバン区、バンコク都

政 党：タイ貢献党

学 歴：コーンケーン大学（タイ王国）理学士卒業

テクノロジー・シドニー大学（オーストラリア）経営工学修士課程卒業

ウェスタン・シドニー大学（オーストラリア）会計学修士課程卒業

セントラル・クイーンズランド大学（オーストラリア）博士課程卒業

議 会：バンコク都議会議員（2022 年 5 月 22 日～）



バンコク都議会第一副議長

氏 名：ウィプット・スィーワウライ

(Mr. Viput Srivaurai)

現 職：バンコク都議会第一副議長

生年月日：1990 年 9 月 5 日

選 出 区：バーンラック区、バンコク都

政 党：タイ貢献党

学 歴：タイ民間航空用訓練センター 航空学航空プログラム技術学士

（第一級学位・金メダル受賞）

議 会：バンコク都議会議員（2022 年 5 月 22 日～）



バンコク都議会第二副議長

氏 名：チャツチャイ・モーディー

(Mr. Chatchai Mordee)

現 職：バンコク都議会第二副議長

生年月日：1993 年 6 月 15 日

選 出 区：バーンナー区、バンコク都

政 党：国民党

学 歴：泰日工業大学（タイ王国）理学士（情報技術）卒業

議 会：バンコク都議会議員（2022 年 5 月 22 日～）



バンコクと議会との交流

■ 友好提携締結等

- (1) 友好提携協定：2007 年 1 月 16 日調印
藤田議長とタワチャイ議長の間でバンコク都において友好提携協定書に署名
- (2) 福岡県アジア交流推進議員連盟：2007 年 7 月 19 日発足
福岡県タイ友好議員連盟：2009 年 6 月 23 日
福岡県アジア交流推進議員連盟より改組
- (3) 消防自動車の寄贈と受入に関する取決め：2014 年 3 月 25 日
松尾議長、九州の自立を考える会蔵内会長とピパツ議長、キットポン委員長との間でバンコク都において署名
- (4) 消防自動車寄贈事業に関する実施協定：2014 年 3 月 25 日
吉村タイ議連会長とキットポン委員長との間でバンコク都において署名
- (5) 友好提携 10 周年に係る覚書：2017 年 5 月 11 日調印
中尾議長とクリアンサック議長の間でバンコク都において更なる協力関係に関する覚書に署名
- (6) 福岡県議会とバンコク都議会との協力関係確立に関する協定
：2024 年 11 月 20 日調印
香原議長とスラジット議長の間でバンコク都においてワンヘルスに関する新たな協定を締結

「福岡県議会とバンコク都議会との交流の歩み」

年		月 日	行 事
2006	平成 18	2 月 7 日 ～13 日	「福岡県バンコク都及びデリー準州訪問団」に藤田議長他 議会一行同行。県と都との友好提携調印式（2 月 8 日）、 バンコク都議会議長を表敬訪問
		2 月 24 日	バンコク都議会議長来福、議長を表敬
2007	平成 19	1 月 15 日 ～18 日	福岡県議会がバンコク都を訪問し、バンコク都議会と友好 提携を締結（1 月 16 日）
		9 月 13 日 ～15 日	バンコク都議会友好訪問団 来県 ※ （14 日 議長表敬、歓迎夕食会）
2008	平成 20	1 月 21 日 ～26 日	福岡県議会後藤副議長他、カンボジア王国及びバンコク都 議会訪問（25 日 議長表敬）
		4 月 3 日 ～7 日	第 1 回バンコク都議会による福岡県友好訪問団 （3 日 議長表敬、歓迎夕食会）
2009	平成 21	5 月 14 日	福岡県議会文化交流訪問団がバンコク都議会訪問 ※

		～18 日	(吉村副議長外議員 5 名、小倉祇園太鼓保存振興会 6 名)
2010	平成 22	1 月 19 日 ～24 日	第 1 回福岡県議会によるバンコク都友好訪問 (吉村タイ友好議員連盟会長外議員 9 名)
		4 月 22 日 ～27 日	第 2 回バンコク都議会による福岡県友好訪問団 (22 日 議長表敬、歓迎夕食会)
2012	平成 24	1 月 30 日 ～2 月 3 日	第 2 回福岡県議会によるバンコク都友好訪問 (原口議長外議員 9 名)
2012	平成 24	5 月 16 日 ～20 日	第 3 回バンコク都議会による福岡県友好訪問 (17 日 議長表敬、歓迎夕食会)
2013	平成 25	3 月 14 日 ～17 日	福岡県観光プロモーション バンコク都訪問 ※ (議会からは松本議長のみ、執行部は小川知事ほか)
2013	平成 25	10 月 15 日 ～19 日	第 3 回福岡県議会によるバンコク都友好訪問 (松尾議長外議員 9 名)
2014	平成 26	3 月 25 日 ～29 日	第 4 回バンコク都議会による福岡県友好訪問 (25 日議長表敬、歓迎夕食会 28 日消防自動車寄贈式)
2014	平成 26	4 月 21 日	バンコク都議会寄贈消防自動車調査特別委員会 訪問団来県(消防学校において実地調査) ※
2014	平成 26	7 月 18 日 ～20 日	ケルダジャパン・フカ・イン・バンコク及びタイ福岡 OB 会発会式に伴 うバンコク都訪問(加地議長外 3 名) ※
2015	平成 27	11 月 25 日 ～29 日	第 4 回福岡県議会によるバンコク都友好訪問 (藏内訪問団団長外議員 11 名)
2016	平成 28	9 月 8 日 ～11 日	第 5 回バンコク都議会による福岡県友好訪問 (8 日議長表敬、歓迎夕食会、10 日送別宴)
2017	平成 29	2 月 19 日 ～23 日	福岡県・福岡県議会によるバンコク都訪問 ※ (小川知事、佐々木徹副議長外議員 13 名)
2017	平成 29	3 月 27 日 ～31 日	バンコク都議会友好訪問団 来県 ※ (27 日議長表敬、30 日歓迎昼食会)

表敬内容

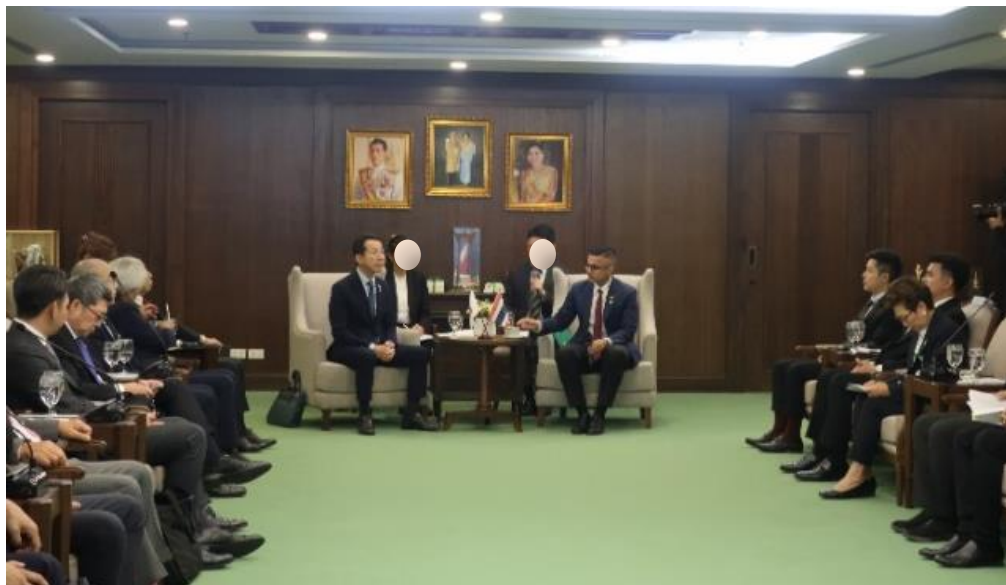
服部知事とともに、バンコク都議会のスラジット・ポンシンウィタヤー議長を表敬訪問した。

スラジット議長は、「バンコク都議会と福岡県議会が、２００７年より友好提携を締結して以来、様々な交流を活発に行ってきた。このたびバンコク都議会でワンヘルスの推進を盛り込んだ新たな協定を締結することができ大変光栄に思う」と挨拶された。

香原議長は、「本年１月に都議会を訪問した際、両議会におけるワンヘルスの推進に関して話をさせていただき、今日このように協定を結ぶことができることを、大変嬉しく思う。これから福岡県とバンコク都の間で、ワンヘルスがしっかりと広がっていくことを心より願っている」と挨拶された。

福岡県タイ友好議員連盟の藏内代表相談役からは、「バンコク都と福岡県の提携に引き続き、両議会でワンヘルスに関する協定が結ばれることに大変嬉しく思う。バンコク都議会と福岡県議会が両輪として、両都県の健康を守り、この地球をきれいな形で次の時代の子供達に委ねたい」と挨拶された。

その後、ワンヘルスの協力関係の推進を盛り込んだ協定に香原議長とスラジット議長が署名し、福岡県議会とバンコク都議会の間で新たな協定が締結されました。



(表敬の様子)



(協定に署名する両議長)



<訪問団コメント>

- ・ 18年にわたり継続されてきた議会間交流の重みを改めて実感できたMOUの締結であった。友好関係は継続することに価値があり、相互訪問の積み重ねが今日の信頼関係につながり、今回ワンヘルスという共通テーマを推進することを実現できたことは極めて喜ばしいことと考える。
- ・ ただしこれはゴールではなく、新たなスタートである。今後は、政策面での交流をさらに深化させ、互いの公衆衛生や環境意識の向上に資するための施策を提言し合いながら、行政に反映し、両地域の環境の健全性を高め、住民福祉の向上につなげていかなければならない。そうしたことも含め、両議会間の交流は今後も力強く継続していく必要があると考える。

◎バンコク都主催歓迎レセプション（１８：００～）

バンコク都主催の歓迎レセプションが、バンコク都内で開催され、チャチャート・シティパン都知事やスラジット・ポンシンウィタヤー議長をはじめ、バンコク都議会議員など多くの方々と懇談した。

香原議長は、「歓迎レセプションを開いていただき感謝する。我々福岡県議会とバンコク都議会は、２００７年より友好提携を締結して以来、経済、環境、青少年、そして文化と、様々な点で交流を深めてきた。今まで築いてきた福岡県とバンコク、そして福岡県議会とバンコク都議会との友好交流の関係がこれからも未永く続いていくことを願っている」と挨拶された。

その後、タイの伝統舞踊が披露されるなど、和やかな雰囲気の中意見交換が行われた。



（チャチャート都知事挨拶）



（服部県知事挨拶）



（香原議長挨拶）



（スラジット議長乾杯挨拶）

【11月21日（木）】

◎福岡県観光セミナー・福岡フェア・福岡県産農林水産物 PR 試食会

I. 概要

1. 日程 2024 年 11 月 21 日

2. 主催者等 福岡県、バンコク都他

II. 目的

タイ国内の旅行会社、メディア関係者、飲食関係者及び消費者に対し、福岡県の観光資源、食文化、伝統工芸及び県産農林水産物の魅力を発信し、観光誘客及び県産品輸出の促進につなげることを目的とする。

III. 報告

（1）福岡県観光セミナー・交流会

訪問団は、現地旅行会社及びメディア関係者等を対象に開催された福岡県観光セミナー・交流会に出席した。

セミナーでは、タイ王国で「最も有名な日本人」として日本の食や文化、日常をタイ語で紹介する番組「SUGOI JAPAN」の企画・製作・司会を務める佐野ひろ氏による講演のほか、福岡県の観光資源や食文化、伝統工芸などについて紹介が行われた。福岡県はアジアとの距離的な近さに加え、都市機能と豊かな自然環境を併せ持つ地域であり、海外からの観光客にとって魅力的な目的地であることが披歴された。

また、福岡市を中心とした都市観光だけでなく、太宰府天満宮をはじめとする歴史文化資源、糸島地域の自然景観、筑後地域の伝統工芸など、多様な観光資源を有していることが豊富な画像を交えて紹介された。

香原議長は、「福岡は色々な観光地があるが、一番は間違いなく食べ物である。ぜひ福岡の食、そして様々な伝統工芸品をご覧になっていただきたい。一人でも多くバンコクの方々が福岡においでになることを願う」と挨拶し、乾杯した。

交流会では、明太子など福岡の食材を使った料理や、あまおうを使用したスイーツ等の提供などと並行して、福岡県の旅行商品の造成や観光客受入れに関する意見交換が行われ、タイにおける福岡県の認知度とプライオリティを大いに向上させる機会となった。



(観光セミナーの様子)



(香原議長乾杯挨拶)



(交流会の様子)

(2) 福岡フェアオープニングセレモニー (15:00～)

同日午後、訪問団は、福岡県とバンコク都との共催イベントである「福岡フェア in バンコク 2024」のオープニングセレモニーに出席した。会場はバンコク都芸術文化センター 屋外イベントスペースに設けられた特設会場で、会場には福岡県の観光情報や伝統工芸品が展示されるとともに、福岡県の魅力を体感できる様々な企画が実施された。

セレモニーで披露された福岡県立八幡中央高等学校書道部の生徒 12 人による、日本語だけでなくタイ語の文字を大きなキャンバスに巨大な筆を用いて書くという見事な書道パフォーマンスは、多くの来場者の関心を集め、日本文化への理解促進に大きく寄与したものと感じた。文化交流は言語や国境を越えて人々の心を結ぶ力を持っている。今回のフェアは単なる観光 PR にとどまらず、福岡県への親しみや関心を高める重要な機会となった。



会場：バンコク都芸術文化センター



(香原議長挨拶)



(書道パフォーマンス)



(3) 福岡県産農林水産物 PR 試食会 (18:00～)

同日夕刻には、現地のレストラン関係者やシェフ、メディア関係者、インフルエンサー等を対象とした福岡県産農林水産物 PR 試食会が開催された。試食会では、「博多和牛」「八女茶」「秋王」「有明のり」など福岡県を代表する農林水産物を活用した料理が提供された。

参加者からは品質の高さや味わいに対する評価が多く聞かれ、福岡県産品に対する関心の高さを実感することができた。近年、海外市場では安全性や品質の高い日本産食品への需要が高まっており、福岡県産品はその点で十分な競争力を有していることを実感した。

一方で、海外市場に定着するためには継続的な販路開拓やブランド戦略が必要であり、生産者、事業者、行政が連携した取組が重要であることも改めて認識することができた。今回の観光セミナー、福岡フェア及び試食会は、観光振興と県産品輸出促進を一体的に進める取組として大きな成果を上げたものとする。



(左から香原議長、藏内代表相談役、シェフ、服部知事、総料理長)

<訪問団コメント>

- ・ タイ市場における福岡県への関心は極めて高く、観光と食を組み合わせた情報発信の重要性を実感する視察となった。博多和牛や八女茶をはじめとする県産品は高い評価を受けており、海外展開の可能性を改めて感じた一方で、インバウンド誘客においては福岡市や太宰府市といった従来からの人気スポットだけでなく、県内あまねく各地域の魅力を我々自身が再認識したうえで発信していくことが重要である。
- ・ また、書道パフォーマンスなど文化交流の取組は、福岡県への理解と親近感を深める上で大きな効果を持つと感じた。人口減少が進む中、観光振興と県産品輸出は地域活性化の重要な柱であり、今後も継続的な取組が必要である。
- ・ 今回の訪問を通じ、観光、文化、経済交流を総合的に推進することが、福岡県とタイ王国との関係強化、相互の発展に重要であり、それに向けた施策を県議会と県とが協議しながら強力に推進していくことが大切だと、改めて認識できた。

<訪問団団長 視察総括>

今回の福岡県・バンコク都友好促進訪問団は、福岡県とバンコク都との友好提携締結から 18 年、福岡県議会とバンコク都議会との同提携から 17 年に渡り培われてきた信頼関係を基盤として、ワンヘルスを新たな協力の柱に位置付ける重要な訪問となった。

最大の成果は、福岡県とバンコク都、福岡県議会とバンコク都議会との間で「ワンヘルス推進に関する基本合意（MOU）」を締結したことである。これにより行政と議会の双方が連携しながらワンヘルスを推進する体制が構築された。人の健康、環境の健全性を一体として捉えるワンヘルスの理念は、感染症対策、環境保全、食の安全など現代社会の課題解決に不可欠な考え方であり、福岡県が先導してきた取組が、国際的な広がりを見せていることを実感した。

バンコク都のチャチャート知事との会談では、長年にわたる交流の積み重ねによって築かれた信頼関係の強さが確認できた。福岡県とバンコク都は、経済、教育、環境、文化など幅広い分野で交流を続けてきたが、ワンヘルスという新たな共通理念を得たことで、今後はより実践的かつ具体的な協力関係へと発展していくことが期待される。

またバンコク都議会との交流では、2007 年の友好提携締結以来継続してきた議会間交流の経過を改めて確認することができた。自治体間交流は首長同士の関係のみならず、議会間の継続した交流によって支えられている。今回の協定締結により、両議会はワンヘルスという共通テーマのもと、更なる政策交流を進めていくこととなった。

さらに、タイ国福岡県人会やタイ福岡 OB 会との交流を通じて、長年にわたり福岡とタイとの懸け橋として活動されている方々の存在の重要性を再確認した。国際交流は制度や協定だけではなく、人と人との信頼関係によって支えられていることを実感した。

観光セミナーや福岡フェアでは、タイの通商関係者、ネットで情報発信を行っているインフルエンサー、メディア等に福岡の食、伝統工芸、観光資源を幅広く発信する機会となった。タイは福岡県にとって非常に重要な交流関係にあり、今後も観光誘客や県産品輸出の促進に向けて継続した取組が必要であり、今後も鋭意取り組んでいく決意である。

福岡県議会としては、今後もバンコク都議会、バンコク都、バンコク在住の方々との交流を継続し、ワンヘルス、多文化共生、観光振興、教育交流など幅広い分野で実践的な連携を進めていく必要があり、その実現に向けて今回の訪問で得た知見を存分に活用していきたい。

福岡県・バンコク都友好促進訪問団 日程【2泊4日】

	日時		内容
1	11月19日 (火)	9:45 10:00～10:15 11:40 15:40 18:30～20:30	集合 (福岡空港国際線ターミナル3階タイ国際航空カウンター) 出発式(福岡空港国際線4階 有料待合室A) 福岡空港発(TG649) バンコク・スワンナプーム空港着 タイ国福岡県人会・タイ福岡OB会との意見交換会
2	11月20日 (水)	10:00～11:30 12:00～14:00 15:00～16:00 18:00～20:00	バンコク都知事との会談(バンコク都庁舎) 在タイ日本国大使館との意見交換会(大使公邸) バンコク都議会表敬及び協定締結式(バンコク都第二庁舎) バンコク都主催歓迎レセプション
3	11月21日 (木)	10:30～13:00 15:00～16:30 18:00～20:00	福岡県観光セミナー・交流会 「福岡フェア」開会セレモニー (バンコク都芸術文化センター 屋外イベントスペース) 県産農林水産物PR試食会
4	11月22日 (金)	1:00 8:10	バンコク・スワンナプーム空港発(TG648) <機内泊> 福岡空港着